



被災地で実施する ボランティア活動

ボランティアの皆さまへ

地球温暖化なども背景にあるのですが、自然災害は世界的にも日本でも年々増加しています。これまでは、しばしば日本を横断していた台風の通過経路が西から東へと縦断するようになり、これとともに災害の範囲も広域化していると思われます。

このような中でペットの飼い主にとっては、自身の安全を確保しながらペットを安全に避難させることがますます重要になり、そのための準備が必要なことは、これまで様々な機会を捉えて周知してきました。しかし災害の発生時はいくら十分な準備をしても想定外のことが生じます。

昨今のように被害が広範囲かつ長期にわたる災害対応では、特に、公的な支援に加えてボランティアの支援活動が、災害対応での復興期に至るまでの長きにわたって非常に重要なものとなっています。被災者支援の一環として行うペットの救援にかかわるボランティアの重要性も、今後はさらに大きくなっていくものと思われます。

本書では、ペットを救援したいという強い思いを持ったボランティアの方々の活動がさらに効果的なものになるように、また自治体等との協働の中でどのような活動ができるのかについて、これまでの災害での様々な事例を取り混ぜて示すとともに、被災地で求められるボランティアの支援のあり方を考えてみたいと思います。

災害対応の全般でご活躍される自治体の方々と共に、人とペットのためにご活動いただくボランティアの皆様に活用していただき、災害への備えの一助にいただければ幸いです。

環境省自然環境局総務課動物愛護管理室